

普通科 総合探究 3年間の指導計画（令和6年度）案

1年次	令和	4月				5月				6月				7月				8月				9月				10月				11月				12月				1月				2月				3月			
	実施時数	1	2	3	4	5	6	7		7	8	9	10	11	12	13	4H	14	15			16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26		27	28	29	4h	30	31	32		33	34			35			
28展開	教科担任4名（TTにより、各クラスを4名で担当する）																教科担任4名（TTにより、各クラスを4名で担当する）																																
個人orグループ	全体				グループ				個人				個人				グループ				グループ				グループ				グループ				グループ				グループ												
実施内容	植松電機ロケット実習				自分史・他己紹介スピーチ				ENAGEED Vol.1				身近な地域の魅力課題再発見				地域創生プランの立案				地域創生プランの立案				地域創生プランの立案				SDGs学習																				
活動内容詳細	・植松電機を訪問してのモデルロケット実習				・行動や努力が実を結んだ出来事やそのときの感情をまとめ、自己分析を行う。 ・作成した「自分史」を交換し合い、受け取った相手の長所を読み取り、他の生徒に紹介する。				・小さな疑問やアイデアが文明を作ってきたことを踏まえ、地域の課題をみつけ、理想状態に近づけるために必要な事柄を考える				・課題の原因分析する。 ・プレスト ・マンダラート ・ボックスアロー				・住み慣れた地域の課題や魅力を見つめ直し、魅力を課題解決につなげる方法を考える ・自治体の発表する統計データなどを分析し、地域の課題を「客観的な数値」に基づいて捉える				・取り組む自治体ごとに班を編成し、地域創生プランを立案する。 ・個人の調査で得た知識を共有し、さらに必要な情報を特定して追加調査を実施する。 ・高校生らしい独創的な案でありながら、数値的な分析に基づくプランを期待する。				・発表準備 ・スライド作成				・SDGs 169のターゲットから1つを選び、文献やインターネットによる調査活動を実施 ・ポスターを制作する。2年7月の課題研究発表会で展示する。																				
伸ばしたい具体的な力	・科学や社会に対する興味				・自己分析力 ・自分の考えを文章で伝える力 ・自分の考えを話すことで伝える力				・課題を見つける力 ・具体的な理想を描く力 ・理想を実現する方法を見つける発想力				・因果関係を見つける思考力				・住み慣れた地域の課題や魅力を客観的に捉える力 ・現状を把握するために必要な情報を集める力 ・地域の抱える問題の構造を分析する力				・課題の解決につながる事柄を見つけ出す力 ・アイデアを実現しようとしたときに起こる問題を予想する力				・情報を見やすく整理する力 ・意図を正確に伝える力				・話で人を引き付ける力				・SDGsについての正しい知識 ・信頼のおける情報を選び出す力 ・集めた情報を人に見せることを意識して整理する力 ・情報を引用する際の正しい知識																
言語を活用する力																																																	
知識、情報を活用する力																																																	
課題を見出す力																																																	
議論する力																																																	
他者と協働する力																																																	
自らを振り返り変容させる力																																																	
挑戦する力																																																	

2年次	月	4月				5月				6月				7月				8月				9月				10月				11月				12月				1月				2月				3月																																		
	実施時数	1	2	3		4	5	6		7	8	9	10	11	12	13		14	15			16	17	18	19	20	21	22		23	24	25	26	27	28	29		30	31	32		33	34			35																																		
28展開	グループ																グループ																																																															
個人orグループ	グループ																グループ																																																															
実施内容	地域に学ぶ課題研究																地域に学ぶ課題研究																個人課題研究・卒業研究																																															
活動内容詳細	・研究の題材として6から8ほどの「カテゴリ」を設定する。 ・生徒は希望のカテゴリの中でグループを編成し、自由な視点から、問題解決や地域の発展を目指す実効性のある提案を目標とした研究を行う。自然科学の場合は、研究を行う。 ・研究活動では、「社会の中で学ぶ」「学校で得た知識を、社会の中で生かす」ことを重視する。																・夏期休業中に滝川市役所や企業を訪問するなどして、課題の詳細を把握する。 ・他の自治体の先行研究を調査し、滝川で期待される効果について分析する。 ・校外での実施調査を行う。																・追加研究 ・スライド作製 ※ 中間発表以降の学校外での発表を奨励する。学校外での発表の実績は成績に反映させる。																																															
伸ばしたい具体的な力	・地域の課題を様々な視点から分析する力 ・アイデアと課題解決を結びつける力 ・地域にある研究資源を見つけ出す力 ・計画の根拠を明確にする力																・グループでの議論を深める力 ・他人の発言の趣旨を捉え、疑問を持つ力 ・他の自治体の成功例など、多様な情報を参考に立案する力																・研究の過程で生じた疑問を解消するために必要な情報を集める力 ・必要な情報を得るために、学校外の期間に取材するために求められる基本的礼儀や、質問を正しく伝える会話力 ・得られた情報を分析する力 ・自らの提案を検証する方法を見つけ出す力																・研究内容を深めるために必要な事柄を見極める力 ・研究を興味深いものにするための取材等を行う行動力 ・研究の要旨を整理し、スライドにまとめる力 ・見る人の興味を引くプレゼンテーションを作る力																・総合探究Ⅲのテーマを決定する。 ・個人研究の仮説を設定し、研究計画を完成させる。 ・春休みには、取材活動を実施する。															
言語を活用する力																																																																																
知識、情報を活用する力																																																																																
課題を見出す力																																																																																
議論する力																																																																																
他者と協働する力																																																																																
自らを振り返り変容させる力																																																																																
挑戦する力																																																																																

3年次	月	4月				5月				6月				7月				8月				9月												
	実施時数	1	3	5	7	9	11	13	15	17	19	21	23	25	27	29	31	33	35															
28展開	週1時間は担任・副担任																																	
個人orグループ	個人																																	
実施内容	個人課題研究・卒業研究																																	
活動内容詳細	・2年次での課題研究の成果と経験を踏まえ、各自の進路希望に沿った視点を加え課題解決を目指す課題研究 ・各自の必要に応じて、取材やアンケート調査などを実施し、成果をポスターにまとめる。																ポ 発 表 ス タ ー		ま と め															
伸ばしたい具体的な力	・研究を進めるうえで生じた疑問に対する、多様な視点からの意見を求め、研究を方向修正しながら進める力 ・探究活動の価値を決定づける「何をやったか」「何がわかったか」「何が言えるか」を自らの文章と言葉で表現し、ポスターを見た人、発表を聞いた人に研究の用紙を的確に伝える力																																	
言語を活用する力																																		
知識、情報を活用する力																																		
課題を見出す力																																		
議論する力																																		
他者と協働する力																																		
自らを振り返り変容させる力																																		
挑戦する力																																		

<<<昨年度からの変更点>>>

【総合探究Ⅰ】  
 1. 2年次の4、5月に実施していた「SDGs調べ学習+ポスター制作」を1年次の1、2、3月に実施  
 ☆ 1年次前期に「探究活動の基礎」を学ぶことが重要であるとの声も多いため、他教科同様に教科担任（TTで4名）を配置し、仮説設定や調査活動といった探究活動の基礎を学ぶ内容に変更する。

【総合探究Ⅱ】  
 1. 4、5月に実施していた「SDGs調べ学習+ポスター作成」を1年次の1、2、3月実施し、2年次は4月から課題研究をスタートさせる。  
 2. 1、2月に総合探究Ⅲの研究テーマ設定を行い、3月に研究計画、春休みの課題として取材活動を実施する。  
 3. 昨年度は6つのカテゴリ合計で26班になるように課題研究開始時点で4から8人の班編成を実施し、カテゴリ内での班移動を認めた。これを、最初に班編成はせず、カテゴリ内で3名から7名の班を編成する方法に変更する。担当教員は、カテゴリの生徒数に合わせて人数を調整し、「1人1班」ではなく、カテゴリを担当する教員が協力して指導する。

【総合探究Ⅲ】  
 1. 4月から7月までの3か月間では研究に十分な時間を確保できなかったため、2年次の1月から3年次の7月までの7か月間で個人研究に取り組む計画に変更する。春休みに取材活動を行い、4月に中間発表を実施する。

